

会議録

会議の名称	第1回よしか病院等第三者調査委員会
開催日時	令和6年4月25日(木) 午後3時から午後5時まで
開催場所	吉賀町役場2階 第2会議室
委員出席者	委員長 谷川 円 委員長職務代理者 有田 眞也 委員 杉島 正貴
説明者	医療対策課 課長 渡邊 栄治、課長補佐 長藤 朋弘
事務局	総務課 課長 野村 幸二、統括主幹 堀野 真一
会議次第	1 開会 2 委員委嘱状交付、委員紹介 3 委員長選任及び委員長職務代理者指名 4 委員長挨拶 5 諮問 6 議題 (1) 会議の進め方について (案) ①委員会開催日程 (案) ②会議運営申し合わせ事項 (案) (2) 経過説明 (3) 調査内容について (案) (4) その他 7 次回開催日等について 8 閉会
会議資料	資料1 吉賀町よしか病院等第三者調査委員会条例 資料2 よしか病院及びよしか介護医療院の開設に係る事務処理状況について (諮問) 資料3 会議の進め方について (案) 資料4 調査内容について (案) 資料5 吉賀町よしか病院等第三者調査委員会について (お願い) ① 【資料①～資料②】 『よしか病院等第三者調査委員会』経過説明に係る資料 ② 吉賀町議会全員協議会概要
議事録の作成方法	要点筆記
記載内容の確認方法	出席した委員全員の確認を得ている。
公開・非公開の別	公開
傍聴者数	10人
会議内容	

1 開会

2 委員委嘱状交付、委員紹介

岩本一巳吉賀町長から3名の委員に委嘱状を交付。

3 委員長選任及び委員長職務代理者指名

よしか病院等第三者調査委員会条例第5条の規定により、委員長に谷川委員、委員長職務代理者に有田委員を選出。

4 委員長挨拶

5 諮問

よしか病院等第三者調査委員会条例第2条の規定により、岩本一巳吉賀町長から委員会へ諮問。

ー岩本一巳吉賀町長退席ー

6 議題

(1) 会議の進め方について(案)

①委員会開催日程(案)

ー委員全員の承認ー

②会議運営申し合わせ事項(案)

事務局から追加事項

5. 会議運営に関して必要な事項はその都度委員長が会議に諮って決定する。

(谷川委員長) 会議の構成員は委員のみか。

(野村) 委員、事務局、説明者(町職員や関係者)で会議運営申し合わせ事項の中で、調査審議を行うこととなる。

(谷川委員長) 公開・非公開や、運営に必要な事項は会議の中で決定することに関しては、委員長が会議に諮ることとなるのか。

(野村) 公開・非公開の決定に関しては3名の委員で行ってほしい。今日は案なので、中身によっては非公開になるかもしれない。

(谷川委員長) 非公開は関係者の希望であってもよいか。

(野村) そういうこととなる。

ー委員全員の承認ー

ー傍聴者に次第を配布ー

(2) 経過説明

①『よしか病院等第三者調査委員会』経過説明に係る資料【資料①～資料⑳】を用いて渡邊医療対策課長から説明。

質疑等について

(谷川委員長) 病院に売店は入っているのか。

(渡邊) 売店はよしか病院において3月1日から運営していない。

(谷川委員長) 経過説明資料21ページ、入院・入所セットのみを別枠のように検討されたように見受けられるが、なぜ別に検討したのか。

(渡邊) 実施をしたのはカタクリ会。入院・入所セットというのは六日市病院では行っていなかった。他の病院では同様なサービスが行われており、カタクリ会が運営する新しい病院では、患者や家族へのサービス向上につながる新しい取り組みとして、提案評価方式で入札した。提案評価方式であるので、指名競争入札のように金額だけで安いところが落札するのではなく、サービスの内容等について評価をして決めたいということで、この入札方式を取られた。

(谷川委員長) 金額だけではなく、サービスの質を考慮する方式としたと。今まで行っていないということだからこの方式としたと。他の入札は、新しい取り組みではないからということか。

(渡邊) はい。他は指名競争入札、単品の業務委託の入札となる。

(谷川委員長) 経過説明資料21ページ以外については、六日市病院で行われていたようなもの、内容については同じか。これは新しい取り組みだからということか。

(渡邊) そのとおり。

(谷川委員長) 評価提案方式以外の入札の仕組みは。

(野村) 指名競争入札は業者を指名する方法。それから一般競争入札という方法。一般競争入札は発注者から業者を指名しない。業者は情報を見て手を挙げることとなる。ただ実際には、仕様書に町内、鹿足郡内、益田管内、島根県内に事業所を有するなど地域を絞って示すこととなる。金額が少額の場合は随意契約となることもある。提案方式は細かな仕様を示さず、業者からのアイデア、サービス内容をトータルで提案してもらいそこで順位づけをするという方式。特にサービス系、役場で言うと計画策定業務などに用いる。

(有田委員) 提案方式の入院・入所セットの仕様書はどういう対象に配布しているのか、入札説明会はどういう形で行ったのか。

(渡邊) カタクリ会が手続きをしているが、一般的にはホームページ等で仕様書を公開する形が考えられる。

(有田委員) 本件の手順は。

(渡邊) この件に関しては、カタクリ会は実績のある業者に話を聞きながら、仕様書を送って、入札参加を決めている。

(有田委員) 入札するリストがあり、リストに入っていない業者が後で言われているのだろう。なんでリストから外れていたのか、それがわかるものがないと公平性とかの検討に行かない。リストがあって、何か言われたことがあって、期間が延長された、そういう事情がわかるものがないと検討できない。

(渡邊) その辺の手続きについては、カタクリ会から説明してもらうこととなる。

(有田委員) 具体的な手順をリストアップしてもらって、時系列的なもので、外れた人はいつの時点で言ってきたのか、何故そういうことが起こったのかということ。文書で

並べてみないと誰も理解できない。検討ではそれが必要。

(3) 調査内容について (案)

(野村) 資料4及び、資料4の元となった経過説明資料119ページについて説明。

(有田委員) 経過説明資料119ページに列挙してあるものを検討するとすると、例えば清掃業務に関しての資料はあるか。

(野村) まず、議会をはじめカタクリ会が行っている入札について、どうなのかという投げかけがあった。それに対して町は、カタクリ会に事情を聴き、議会に説明した。と同時に議会からの投げかけがあったことに対して、カタクリ会から調査要望があり、第三者調査委員会の設置に至った。委員会ではカタクリ会が行った入札の検証、確認をしてもらうこととなる。

(有田委員) 経過説明資料119ページと資料4とは同じことが書いてあるが、そこに列挙してあるものを検討するということか。例えば清掃業務に関して仕様書など最低限の具体的なものが示されないとの確かどうか判断できない。

(谷川委員長) それらは今後出てくると考えているが、町が多く入っているので、町に聞きたくなるが、実際はカタクリ会が主導的に行っていることも多いと思われ、カタクリ会でないと説明が困難なものがあると考えられる。それぞれがどういう役割を担って、それが適切であったかというところもあったと思う。今日の段階では説明が困難だと思う。

(有田委員) 一つ一つわかるようにものを揃えてもらえればと思う。ある資料を全て。経過説明資料119ページに整理されているものに沿った資料を揃えて欲しい。カタクリ会、町がというかよりも、要因がわかるように揃えてもらえないと決断できない。

(谷川委員長) カタクリ会が毎回来られるかどうかは。

(野村) 調整する。

(有田委員) 次回からは常にカタクリ会の同席がないとわからないと思う。

(杉島委員) カタクリ会の出席が必要と思う。

(谷川委員長) 次の会議は、カタクリ会の出席を要請するということよろしいか。

(野村) 資料5を配布させていただく。これはカタクリ会に対して資料の提供と説明を求めるという内容で、委員会として行ってもらう必要がある。

(谷川委員長) 5つの調査内容とは、これに限るということでよいのか。

(野村) 今日の段階では医療対策課からの説明はこれしかないので、そうなるかと思う。

(谷川委員長) 入札が5件だからということか。この5件についての関係資料の提出のところに「可能な限り全て」という文言を加えていただければと思う。

(有田委員) カタクリ会とその前の医療機関で入札が変わった部分の説明、整理が必要。入札がどのように変更があったのか聞けるように。

(谷川委員長) 入札の変更点は関心がある。

(杉島委員) どこがどう変わったかという点が、問題になっていると思う。

(谷川委員長) 六日市病院時代がどうであったのかその資料さえあればできると思う。

例えば六日市病院で院内清掃がこの会社で、入札がこうであったと。

(有田委員) 切り替わった時、六日市病院時代がどうであったのか、六日市病院で院内清掃業務がどういう入札が行われたのかということ。

(長藤) 町が町立病院を設置したのが3月1日で、指定管理者としてカタクリ会が3月1日から運営を開始した。それ以前は民間病院であったので、民間病院が行った入札の書類は持っていない。入札の仕方の変化について比較が難しい部分があると思う。

(有田委員) 仕様書はどうやって作ったのか。前の病院をある程度参考にしないとできないのではないかな。

(長藤) 前の病院を参考というより、別の病院の運営等で携わっていた人間が経験を踏まえて仕様書を作成した。必ずしも六日市病院の仕様書を元に作成しているわけではない。カタクリ会へは、どういう根拠で仕様書を作ったのかという説明を求めていくが、前との比較を十分に示せるかは不明である。

(有田委員) どう変わったかを整理して示してもらえば。

(谷川委員長) 依頼文書に関して、カタクリ会に可能な限り出席してもらうため、今後の日程を予め伝達をしてほしい。

(野村) 第2回目以降の調整を行う。

—委員全員の承認—

(野村) 次回の開催について、最初のところで本日の会議録の確認を行っていただく。確認は事務局が作成した会議録に押印するという形とし、そこから第2回目の会議を始めることとしたい。

(谷川委員長) 公開・非公開に関しては。

(野村) カタクリ会にこれから依頼するが、カタクリ会からの資料内容を事前に委員に配布したいと考えている。そこで内容を確認し、公開・非公開かをその場で決めていただければと思う。

(谷川委員長) 委員が予め公開・非公開を検討するが、広報するのか。

(野村) 5月10日にこの委員会を行うという広報は行う。広報には原則公開するという表現をする。言い換えれば急遽、非公開もあり得る。

(谷川委員長) 了解した。

(有田委員) 入札説明、どういう形で行われたのか、開催の文書があるのか、あれば開催した文書も欲しい。入札説明、どこで何分間、誰を対象にしたのか、そこが本件の色々と不平不満が出たところだと思う。入札説明会なり、説明書の配布なり、一覧表にして、入札公告についてどうだったかと。そこから確認したい。

(杉島委員) 入院・入所セット、入札にあたって最初に案内を出して、そのあとに何か漏れていたというのがあって、追加で案内を出したという。そこまでの理由があったのか。

(長藤) 漏れていたというよりは、最初に町外の実績のある2社に対して案内をした。入院・入所セットは、入院時に着るものやオムツがセットとなっている。一方、入院・入所セットとして取り扱いはないが、病衣、オムツと別々に取り扱いをしている町内の

事業者があり、町内事業者にも声をかけてほしいということで、カタクリ会に対して門戸を広げた形での案内をしてほしいというような話をした。それを受けてカタクリ会も2社だけの案内では少ないということもあり、追加して出すこととなった。ただ期限が近かったので、期限を1週間先延ばしにして、最初の2社からもう2社を追加した。

(有田委員) 2社に声をかけたという事は、最初から入札するという意思はなかったということか。

(長藤) 広く公募しての入札というよりは、実績のある2社に案内をしてそこで競争させるという流れである。

(有田委員) 一本釣りと感じられる。入札は入札手続きを踏むのだから。

(長藤) 指名競争入札であれば、事前に業者を決めて入札をかけられる。カタクリ会では指名競争に近い形を取った。

(有田委員) 指名競争入札の決裁はあるか。

(長藤) そこはカタクリ会となる。

(有田委員) そこを確認してほしい。普通に考えてこれが正しいのだろうなという判断をしたい。一般的にはこういう形でやるべきだろうという質問をすることとなると思う。

(谷川委員長) 今の段階では資料を可能な限り求めることとし、足りない資料があれば、追加を求めるということとしたい。ある程度の資料の用意があれば、すぐに結論が出るものもあるかもしれない。

(有田委員) 今回の資料の中では、見えないところが多い。見えないところを手当てしてもらうことが大事と思う。

(谷川委員長) あるものは出してほしいが、作成する資料は可能な程度ということとし、徐々に気になる点が絞り込まれると思う。いかがか。

—有田委員、杉島委員承知した。—

7. 次回開催日等について

(野村) 次回、第2回は5月10日(金) 13時30分、この場所で開催となる。それまでの間にカタクリ会へ依頼を行う。

(谷川委員長) 1回目ということで不慣れ点があったとは思いますが、残りの委員会よろしくをお願いします。ありがとうございました。

8. 閉会

(17時閉会)

この会議録を承認します。

令和6年5月10日

よしか病院等第三者調査委員会

委員長 谷川 円 (印)

委員 有田 眞也 (印)

委員 杉島 正貴 (印)